

お城公園こども遊び場づくり事業 第 10 回事業推進会議を開催しました！

令和 8 年 8 月 1 日(土曜日)の午前に、お城公園こども遊び場づくり事業 第 10 回事業推進会議を、津リージョンプラザ 1 階中央保健センター待合ホールにて開催しました。

第 10 回の会議には、こども 3 人を含む、19 人にご参加いただきました。



最初にこども政策課長よりこれまでの経過についてお話があったあと、市の担当者から取り組み状況の進捗について説明を行いました。

まずは、生涯学習課から犬走りの確認調査についてです。

埋め立てにより地中に埋まっている犬走りを整備後の広場に反映させるために、犬走りの幅などを確認するための調査を行っています。

瓦などの遺物や遺構の様子を図面や写真で記録をし、専門家の指導を受けた後、8 月下旬には調査の成果を一般公開します。



その後は、進行役である「特定非営利活動法人世界 SHIEN こども学校のびすく」の松井さんにバトンタッチし、5月に行った前回の会議の振り返りを行いました。

まず、令和8年度の目標については、「お城公園をみんなでせいびしていることをもっとたくさんの人に知ってもらう」、「子どもが主体となったPRイベント」といった意見から、「遊びでひろがる、笑顔がつながるみんなで育てるあ津まる広場(あつまるひろば)」としました。

次に、外あそびについては、「人間オセロ」が一番人気で、次いで「しゃぼん玉」、「水てっぽう大会・水鉄砲」、「木のぼり」が人気でした。

そして最後に、あ津まる広場(あつまるひろば)のPRについて、一番票を獲得した「SNSで発信」についてはInstagramでの発信に力を入れていること、「シールにする」という意見からオリジナルシールを作成したことのほか、城下町テラス(センターパレス1階)に看板を設置し、南東広場にも看板を設置する予定であることをお伝えしました。



その後、3つのグループにわかれて、対話を行いました。

今回の対話では、

- 伐採された樹木を使って何かできないでしょうか？
- 11月の高虎サミットの時、何かできないでしょうか？

をテーマに行いました。



各グループで話し合ったあとは、全体に発表して話し合った内容を共有しました。



発表のあとは、投票の時間です。各グループの意見を見比べるために行ったり来たりしながら、今回は各テーマについて 1 人 3 つまで選んで投票しました。



投票の結果、

伐採した樹木の活用について一番票を集めたのは、ひかりチームの「パチンコ作り」(7 票)と「ブランコを作
ってほしい」、「いろんな木を使って武器を作る」(各 5 票)でした。

高虎サミットで行うことについては、かわチームの「切った木を使って焼きイモパーティー」と、ひかりチーム
の「チェーンソーアーティストを呼ぶ」がそれぞれ 12 票で一番人気でした。次いで、うみチーム・ひかりチー
ムの「ヨガ」と、ひかりチームの「丸太切り大会」が 6 票ずつ獲得しました。

全てのグループの意見は下記のとおりです。

第10回事業推進会議意見まとめ

①伐採された樹木を使って何かできないでしょうか？

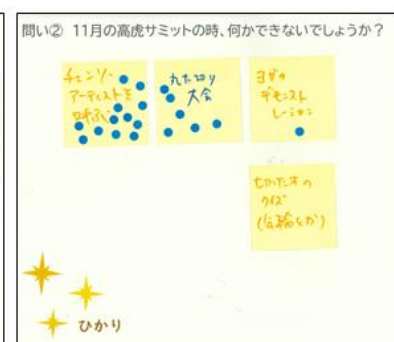
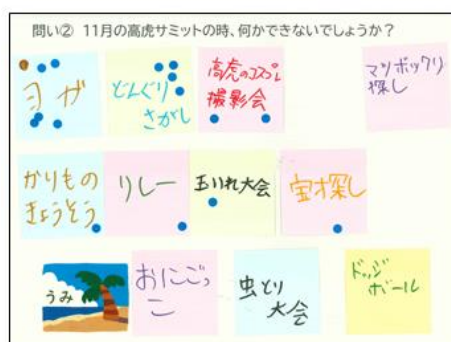
チーム	各班からの意見	投票数
ひかり	パチンコ作り	7票
ひかり	ブランコを作ってほしい	5票
ひかり	いろんな木を使って武器を作る	5票
うみ	家具(イス・つくえ)	4票
うみ	シーソー	4票
かわ	小さく切ってお守りをつくる	4票
かわ	ノコギリで切ってコースターづくり	3票



第10回事業推進会議意見まとめ

②11月の高虎サミットの時、何かできないでしょうか？

チーム	各班からの意見	投票数
かわ	切った木を使って焼きイモパーティー	12票
ひかり	チェーンソーアーティストを呼ぶ	12票
うみ+ひかり	ヨガ	6票
ひかり	丸太切り大会	6票
うみ	どんぐり探し	4票
かわ	伐採した木を並べてあ津まる広場の1/10模型を置く	2票
うみ	高虎のコスプレ撮影会	2票



それぞれのグループから投票結果を発表してもらった後、前回会議で出た外あそびのアイデアのひとつであるヨガをおこないました。

講師は、津市大門でヨガスタジオを開設している ChanEri(ちゃんえり)さんです。





足の指から順番に全身をほぐしたあと、公園で行うヨガをイメージして参加者全員で 1 つの輪になって立ち木のポーズをするなど、さまざまなヨガを体験しました。





最後は床に寝転がって瞑想の時間。ヨガのあとは心も体もリフレッシュできた様子でした。

今回は屋内で行いましたが、新しい広場が完成したら、芝生の上で石垣を眺めながら、心地よく体を動かす時間を作れたら素敵ですね。

会議の終わりには、こども政策課の職員手作りのオリジナルシールをプレゼントしました。

今回の配布をきっかけに、取り組みがより多くの方に広がっていくことを願っています。